

新潟大学におけるJ-PEAKSを活用した 大学機能強化

国立大学法人 新潟大学



新潟大学長 牛木 辰男

社会変革の創生

イノベーション

- 産業創出
- 地方創成

研究を強化

国際的優位性

ヘルス・
ライフサイエンス 領域

次世代国際ひとブレインバンク

地域型特色

食と健康 領域

コシヒカリ研究、日本酒学 等

イノベーション
に展開

経営力強化 スパイラル

外部資金
の拡大

新重点領域、
機能強化へ投資

研究を研究で
終わらさない

個人型

組織型 実装型に

人材の強化

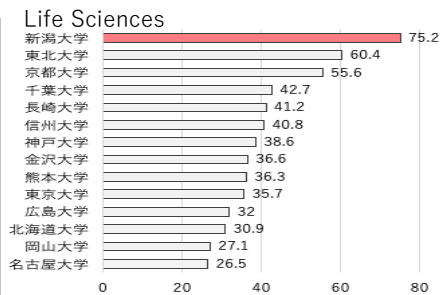
博士人材育成

若手人材活躍

エキスパート人材
(University
Administrator) 活躍

国際的優位性を持つ研究領域 「ヘルス・ライフサイエンス分野」

・Q1ジャーナル掲載論文数やTHE分析



Scopusによる分野別論文引用数比較

1. 東京大学 (72.2)
2. 京都大学 (64.1)
3. **新潟大学 (62.4)**
4. 大阪大学 (61.7)
5. 東京医科歯科大学 (60.8)

THEライフサイエンス分野の研究の質

イノベーションへの展開

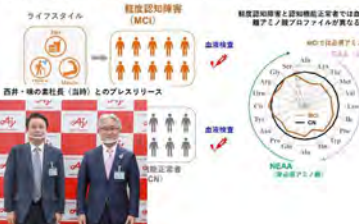
共同研究

アミノ酸技術を活用した認知症マーカー開発
(味の素株式会社との共同研究)



Article
Development of a Novel Nutrition-Related Multivariate Biomarker for Mild Cognitive Impairment Based on the Plasma Free Amino Acid Profile

Takashi Harauchi^{1,2}, Naoki Yano¹, Mitsuru Saito¹, Fumiyoshi Morikawa¹, Shota Tera¹, Chika Nishimura¹, Nobuhiko Miyazawa¹, Yuzuko Kaneko¹, Kazuo Kato¹, Shiro Teraoka¹, Kazuhiko Uemura^{1,3}, Kenzoku Kuroga⁴, Takayoshi Takahashi^{4,5}, Junjiro Ono⁴, Kazumi Yano⁴, Tatsuki Nishino⁴, Ryuji Yajima⁴, Takaoji Horiuchi^{4,5}, Yuki Yokoyama⁴, Akiko Kikuchi⁴, Koji Kaneko⁴, Mitsuru Yamakado⁴ and Kenji Nagasawa⁴



認知症研究への展開

新たな認知症血液マーカーの開発
(島津製作所との共同研究)



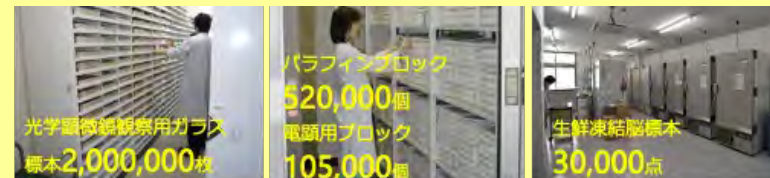
受託研究

AMED脳神経科学統合プログラム、認知症研究開発事業、AMED-CREST、JST創発的研究支援事業、さきがけ

世界最大級の標本数・高品質を誇る ひとブレインバンク



新潟大学脳研究所
Brain Research Institute, Niigata University



- ・新潟大学 (NUHBB) : ~30,000点
- ・Harvard University (HBTRC) : ~9,000点
- ・UK Brain Banks Network : ~17,500点

イノベーションに展開

ひとバイオリソース複合センター

R4地域中核施設整備事業採択

ひと脳や髄液等標本
一括管理
臨床情報等との連動
一括管理・活用



“Human Brain Science Zone”

The 新潟

地球温暖化に勝つ「コメ」実証研究

耐暑性

- マルチストレス耐性
コシヒカリ種苗開発



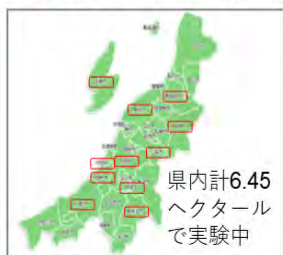
メタン削減

- 水稻栽培における
メタン削減実証研究



○温室効果ガス削減認定
(農水省)

○新潟県内農家実証栽培
30トン/年生産販売



ベトナム・オーストラリア等で地球
温暖化対応コメの生産共同開発へ

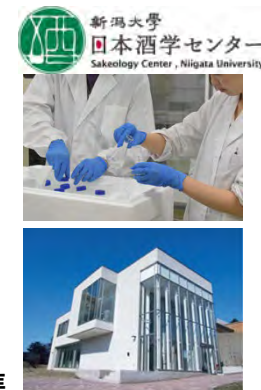


農水省 革新的新品種開発（提案公募型）
(R6補正：R7-9)

日本酒学センター



ボルドー大学
カリフォルニア大との連携



食×情報「おいしさ科学」

関与する研究者と研究シーズ

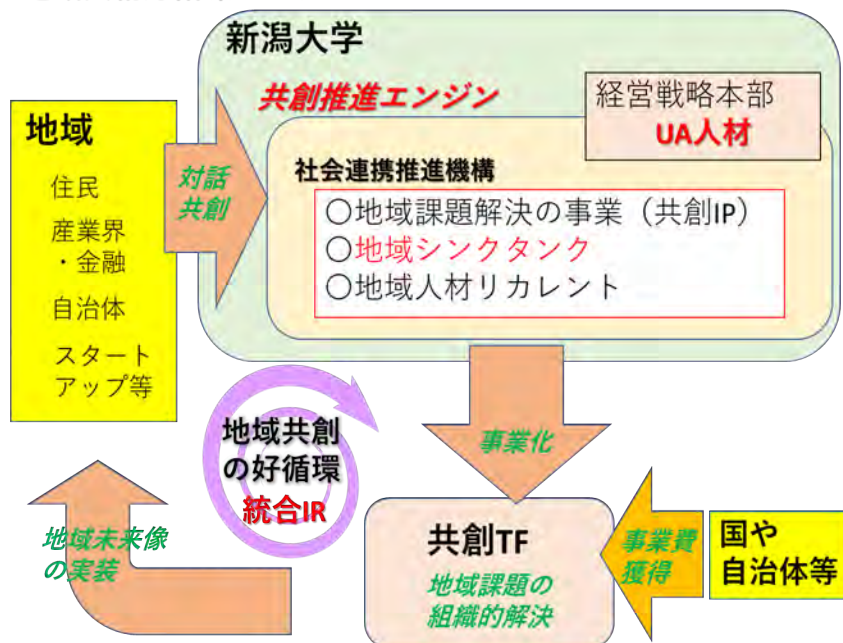


特殊分析の事例：時間による味の変化（五味の感じ方＋時系列）



地方創成 地域シンクタンク機能

地域共創好循環システム

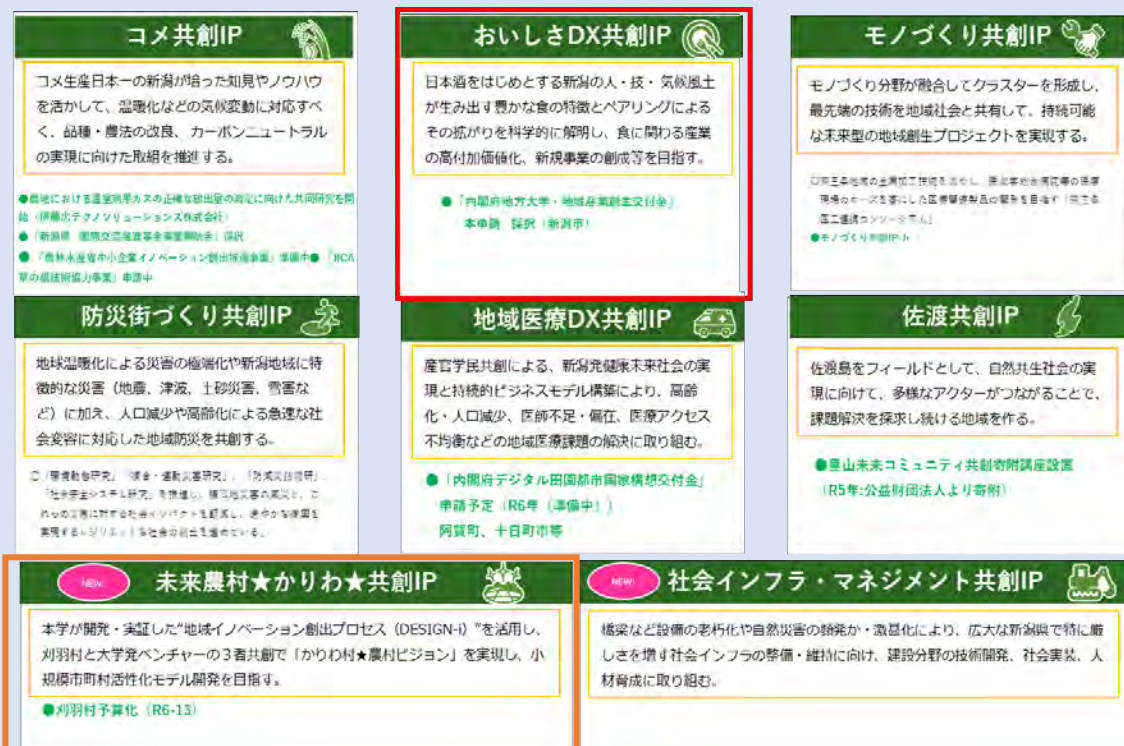


文科省 組織整備事業 (R4-8)

内閣府 地域中核イノベーション事業 (R6-7)

共創イノベーションプロジェクト (共創IP)

地方創成を8重点領域で事業として展開



個人の地方貢献活動から組織的な地方創成事業へ

おいしさの差別化
おいしさを計る
産官学地域の共創

ブランド米

(新之助、コシヒカリ、あきたこまち、ななつぼし、ヒノヒカリ等)
285品種



ブランド日本酒 (久保田、松竹梅、月桂冠、剣菱、鶴の友等)
1万銘柄以上

ブランド牛 (村上牛、松坂牛、近江牛、米沢牛、飛騨牛等)
376銘柄以上



おいしい!

選べない!

日本文化に根ざす「日本酒学」

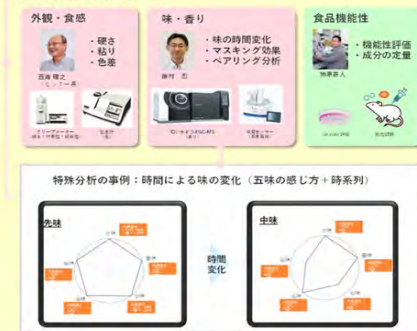


ポルドー大学
カリフォルニア大との連携

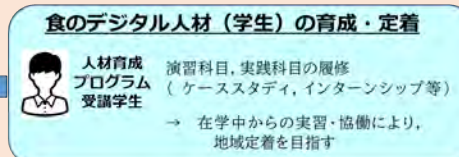
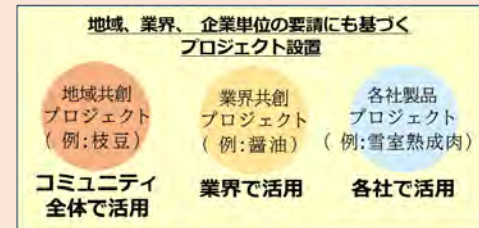
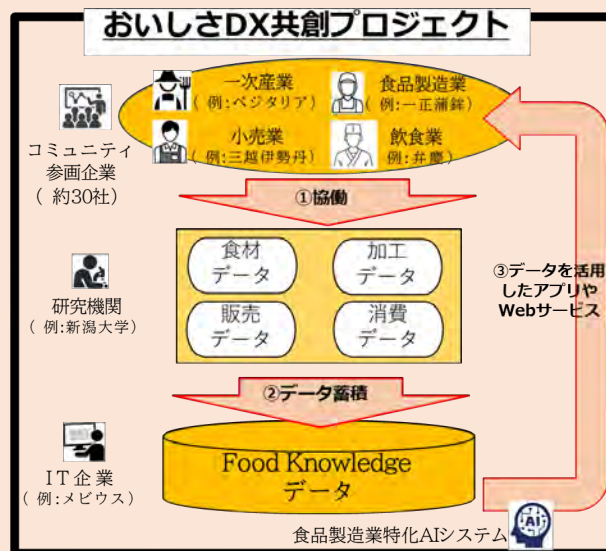


食 x 情報「おいしさ科学」

関与する研究者と研究シーズ

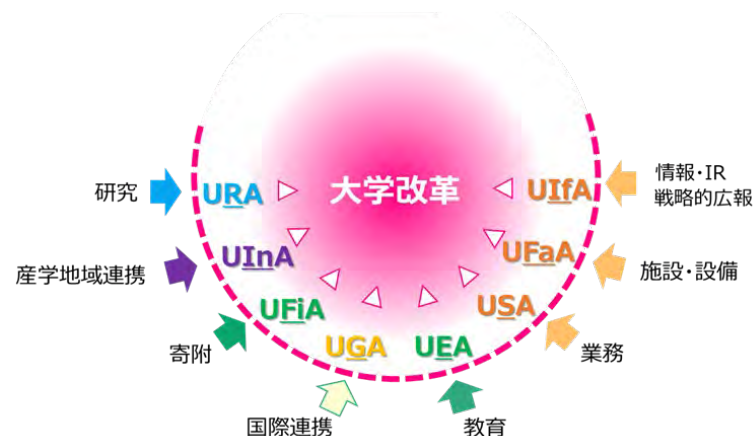


新潟市 x 新潟大学 x 地域食関連産業



研究者とともに
事業化・経営等の専門性を持った大学経営エキスパート人材が必要！

事業経験、学術専門性や交渉力などの
経営指向エキスパート人材



大学経営の担い手に
経営型エキスパート人材（UA職：フルタイム）を加える

- ・事業化等より高度な機能強化を推進
- ・研究者の独創的な時間の拡大および大学院生からあこがれる新たな職へ

UA職人事・育成制度を構築して組織化
内閣府PEAKS実証事業 R5年度

未来社会の“脳といのち”と“食と健康”のイノベーションを創出する研究拠点

10年後の Vision

- ◆ 重点研究領域において、地域が頼りにし世界に貢献する研究成果の創出と社会実装を行う
- ◆ 国内外研究機関との連携を通して優れた研究人材が集い活躍する場を形成する
- ◆ これらの達成に向け、高度専門人材が事務職と連動して活躍し、教学と経営の分離協働により各教職員が能力を活かせる魅力的な職場を構築する



強化を図る機能：

- ①卓越性、②イノベーション

“国際的優位性”や“特色ある分野”を結びつけた重点領域

“脳といのち”領域

脳神経病態研究、
再生医療 等

“食と健康”領域

耐環境コシヒカリ研究、
食味・機能性食品研究 等

新領域・新展開に向けた再投資

統合IRの強化

アウトカム評価による
重点領域の設定

ベンチマーク比較による
プロセスと戦略の明確化

ブレイン&メディカル
イノベーションハブ (仮称)



R4補正 地域中核施設整備事業

研究とイノベーション(R&I)を両輪として発展・強化

研究力強化推進本部
【学長直轄特区】

R & I戦略4

戦略的飛躍プログラムの設置

アウトカム
成果

R & I戦略1

組織化と成果創出のための
組織マネジメント強化

R & I戦略2

成長・未来分野の強化

R & I戦略3

国内外大学との連携強化



高度人材活用戦略

若手研究者・大学院生が活躍できる環境整備、対外的発展
のためのUA強化と協働する事務系職員の活躍推進



- 連携大学
- 参画機関